

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】						
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間	目標達成状況(任意)
1	②	事業所と地域との付き合い	現在を維持しながら、グループホームの業務を今後も知ってもらえるよう努め、協力を得ていきたい。	入居者が重度化傾向にあり、利用者に手が必要で、思うように関わっていない。職員が関わるのではなく、地域の方の援助が受けられるようなイベントなどを検討していきたい。 グループホームをもっと理解していただける様な取り組みを全体で検討し、今までの関わりを大切にしながら声かけをしていきたい。	12 か月	
2	⑤	身体拘束をしないケアの実践	身体拘束が予防出来ていた頃に戻れるよう努めたい。	身体拘束については、職員の中には昔の考え方が残っている人もあり、改善が必要だと考えさせられた。早急に研修を開催し、身体拘束についての認識を身につけさせたい。 来年度より、月一回の勉強会を検討している。	12 か月	
3	⑥ ⑧ ⑨	運営に関する家族・利用者との関わり方や意見の反映 思いやりや意向の把握	介護者主体でなく、利用者・家族、その他の方々の意見・要望を受け入れる。	最近の職員の関わり方が、自分たちのベースで関わっている様に感じていた。今年度より、月二回のミニミーティングと月一回のスタッフ会議を行い、まず、スタッフが介護に対して統一したケアが出来るような対策を行っていききたい。 結果を家族、利用者にも報告し、意見、要望を伺いながらサービス計画を検討していきたい。 ケアマネージャーとアセスメント、モニタリングにも力を入れていき、色々な人や物などの取り組みも考えていけるよう向上に努めたい。	12 か月	
4	⑩	介護計画とモニタリング	アセスメント、モニタリングをきちんとやって行く。	ミニミーティングなどで、利用者それぞれの事についての問題提供、改善策などを話し合い、ケアマネージャー、家族、利用者にも相談し改善策を話し合い、出来るだけ家族などの要望が受け入れやすいようにするために心がけ、協力をお願いし、良いケアが出来ていくよう努力していきたい。 職員の介護に対する認識にも心配りが必要だと思う。	12 か月	
5	⑬	災害対策	年2回の防災訓練 地域での訓練の参加、協力	地域の防災訓練に参加した職員から、利用者全員を助け出す訓練を夜間、昼間両方を2か月に一回位で試してみたいとの意見があり、今年度より予定を立てて行きたいと思う。責任者を決め、時間など計測しながら定期的に行っていききたい。 年二回の訓練も実行していこうと考えている。	12 か月	
6	⑭	一人一人の尊重とプライバシー保護	利用者、家族の意見・要望などしっかりと受け入れていけるよう、スタッフと共に務める。	介護相談員さんの仕事内容が分からないので、今年度より運営委員会への出席をお願いし、意見を聞く。今後の運営委員会のあり方も検討していきながら改善できればと思う。イベントなどにも参加していただいたり、地域のイベントなどにも声かけをお願いしていきたい。 家族の声もしっかり聞き入れて行きたい。	12 か月	

(別表第1の5)

### サービス評価の実施と活用状況表

事業所のサービス評価の実施と活用状況について振り返ります。「目標達成計画」を作成した時点で記入します。

【サービス評価の実施と活かし方についての振り返り】	
実施段階	取り組んだ内容 (↓該当するものすべてに○印)
1 サービス評価の事前準備	<input type="radio"/> ①運営者、管理者、職員でサービス評価の意義について話し合った
	<input type="radio"/> ②利用者へサービス評価について説明した
	<input type="radio"/> ③利用者家族へサービス評価や家族アンケートのねらいを説明し、協力をお願いした
	<input type="radio"/> ④運営推進会議でサービス評価の説明とともに、どのように評価機関を選択したか、について報告した
	<input type="radio"/> ⑤その他( )
2 自己評価の実施	<input type="radio"/> ①自己評価を職員全員が実施した
	<input type="radio"/> ②前回のサービス評価で掲げた目標の達成状況について、職員全員で話し合った
	<input type="radio"/> ③自己評価結果をもとに職員全員で事業所の現状と次のステップに向けた具体的な目標について話し合った
	<input type="radio"/> ④評価項目を通じて自分たちのめざす良質なケアサービスについて話し合い、意識統一を図った
	<input type="radio"/> ⑤その他( )
3 外部評価(訪問調査当日)	<input type="radio"/> ①普段の現場の具体を見てもらったり、ヒアリングで日頃の実践内容を聞いてもらった
	<input type="radio"/> ②評価項目のねらいを踏まえて、評価調査員と率直に意見交換ができた
	<input type="radio"/> ③対話から、事業所の努力・工夫しているところを確認したり、次のステップに向けた努力目標等の気づきを得た
	<input type="radio"/> ④その他( )
4 評価結果(自己評価、外部評価)の公開	<input type="radio"/> ①運営者、職員全員で外部評価の結果について話し合った (1/12・1/19・1/26 予定)
	<input type="radio"/> ②利用者家族に評価結果を報告し、その内容について話し合った (1/10予定)
	<input type="radio"/> ③評価機関へ評価結果を提出し、現場の状況を話し合った
	<input type="radio"/> ④運営推進会議で評価結果を報告し、その内容について話し合った (1/19予定)
	<input type="radio"/> ⑤その他( )
5 サービス評価の活用	<input type="radio"/> ①職員全員で次のステップに向けた目標を話し合い、「目標達成計画」を作成した
	<input type="radio"/> ②「目標達成計画」を利用者、利用者家族や運営推進会議で説明し、協力やモニター依頼した(する)
	<input type="radio"/> ③「目標達成計画」を評価機関へ説明し、提出した(する)
	<input type="radio"/> ④「目標達成計画」に則り、目標達成に向けて取り組んだ(取り組む)
	<input type="radio"/> ⑤その他( )